

令和5年度 市長記者会見 発言要旨

令和5年10月30日(月)開催分 **第1部**

- < 開催時間 > 14:00~
- < 会場 > 庁議室(市役所本館3階)
- < 会見案件 > 12月補正予算案の概要
福井市特別栄誉賞の授与
- < 会見資料 > 12月補正予算案の概要
- < 出席者 > 市長、総務部長、財政部長、財政課長、都市整備課長、移住定住推進室長、子ども福祉課長
おもてなし観光推進課長、文化振興課長、消防総務課長、文書法制課長

< 発表内容 >

【福井市長】

本日は、令和5年12月福井市議会定例会に提出を予定しております12月補正予算案の概要につきまして、ご説明申し上げます。今回の補正予算案は、新幹線福井開業に向けた取組をはじめ原油価格・物価高騰対策やその他各種施策を推進するために予算措置が必要となった事業について計上するものです。

補正予算案の規模は、「12月補正予算案の概要」の1ページに記載のとおり、
一般会計で、20億7,501万4千円
国民健康保険特別会計で、3億2,432万5千円
介護保険特別会計で、5億7,656万1千円
競輪特別会計で、2億6,000万円
駐車場特別会計で、572万円
集落排水事業会計で、1,210万円
追加いたします。

この結果、補正後の予算総額は、
一般会計で、1,350億5,634万1千円
特別会計で、778億2,918万9千円
企業会計で、318億 862万4千円
全会計では、2,446億9,415万4千円
となります。

それでは引き続き、補正予算案の詳細につきまして、財政部長から説明いたします。

【財政部長】

それでは、お手元の資料「12月補正予算案の概要」により、ご説明を申し上げます。

まず、1ページにつきましては、ただいま市長が申し上げました、会計別の総括表でございます。

2ページをお開きください。これは、一般会計の財源について表したものでございます。

地方交付税で、2億8,648万9千円

使用料及び手数料で、3,450万4千円

国庫支出金で、5億1,047万1千円

県支出金で、9,711万円

繰越金で、9億9,702万2千円

諸収入で、1億3,381万8千円

市債で、1,560万円

をそれぞれ追加いたします。

3ページをご覧ください。これは、一般会計の歳出を款別に表しております。

総務費で、5億6,242万円

民生費で、8億1,014万7千円

衛生費で、6,070万7千円

農林水産業費で、1,210万円

商工費で、693万6千円

土木費で、2,371万円

消防費で、503万2千円

教育費で、9,694万円

公債費で、4億9,702万2千円

をそれぞれ追加いたします。

4ページをお開きください。今回計上しました事業の一覧でございます。

6ページをお開きください。第一に、「原油価格・物価高騰への対応に関する事業」としまして、

拡充 1番 障がい福祉サービス事業所への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業 3,090万5千円、

拡充 2番 介護サービス事業所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業 1億257万3千円、および

拡充 3番 私立保育所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援事業 1,227万7千円

につきましては、障がい福祉サービス事業所、介護サービス事業所および私立保育所等への電気料等エネルギー価格高騰対策支援金の対象期間を延長するため、事業費を増額します。

7ページをご覧ください。

4番 市施設光熱費等高騰対応1億4,456万9千円でございます。

原油価格や電気・ガス料金等の高騰により予算の不足が見込まれるため、市施設等の光熱費等を補正します。

8ページをお開きください。第二に「新幹線開業に向けた事業」です。

5番 県都まちなか再生事業867万6千円でございます。まちなかの魅力向上に寄与する建物の建替や店舗等の改修事業に対し、県と連携して支援します。

拡充 6番 シェアサイクル活用促進事業1,503万4千円でございます。シェアサイクル「ふくチャリ」の利用者の増加に対応するため、自転車を増台し、まちなかの回遊性を高めます。

7番 福井でかなえる快適ライフ応援事業500万円でございます。首都圏からの移住者の増加が見込まれるため、移住就職等支援金に要する事業費を増額します。

9ページをご覧ください。

新規 8番 ふくい桜まつり新幹線開業記念事業643万6千円、および

新規 9番 グリフィス記念館にぎわい創出事業 50万円、

につきましては、新幹線開業後初めて開催します、ふくい桜まつりにおいて、新幹線開業記念事業とグリフィス記念館でのイベント等を行います。

10ページをお開きください。第三に「各種施策を推進するための取組」です。

10番 電子入札システム管理事業1,042万6千円でございます。県と県内市町が共同利用している福井県電子調達システムのシステム更改費等の運営費を負担します。

11番 生活保護扶助費等2億8,231万3千円でございます。生活保護扶助費等の増加に対応するため、事業費を増額します。

12番 障がい福祉システム改修事業2,446万2千円でございます。障がい福祉サービス等の報酬改定に伴い、システムの改修を行います。

13番 子ども医療費助成事業2億974万8千円でございます。子ども医療費の助成額の増加に対応するため、事業費を増額します。

新規 14番 保育の職場環境改善事業 170万円でございます。私立保育所等が精神科医師や臨床心理士等を招き、個々の保育士等の相談対応や勤務環境づくりへの助言などの取組を支援します。

11ページをご覧ください。

15番 休日急患センター運営事業3,450万4千円でございます。新型コロナウイルス感染症による受診者数の増加やインフルエンザとの同時流行に対応するため、休日急患センターの診療体制を確保します。

新規 16番 休日急患センター棟設備更新事業2,080万円でございます。休日急患センター棟において安定した初期救急医療を提供できるよう、老朽化した空調設備を更新します。

17番 国民健康保険システム改修事業 632万5千円、および

18番 介護保険システム改修事業 1,718万3千円、

につきましては、法律の改正に伴い、システムの改修を行います。

19番 本町通り地下駐車場管理事業572万円でございます。本町通り地下駐車場の緊急修繕により予算の不足が見込まれるため、事業費を増額します。

12ページをお開きください。

第四に「その他」の事業です。

20番 国庫補助金等返還金 4億220万9千円でございます。国庫補助金等の超過交付分を返還します。

21番 市税等過年度収入還付金 3,400万円でございます。市税等過年度収入還付金について、予算の不足が見込まれるため、増額補正します。

22番 地方財政法に基づく決算剰余金の処理9億9,702万2千円でございます。地方財政法に基づき、令和4年度決算剰余金の2分の1以上の額について、財政調整基金への積立および市債の繰上げ償還を行います。

23番 国民健康保険基金積立金3億1,800万円でございます。令和4年度の決算剰余金の一部を、国民健康保険基金に積み立てます。

13ページをご覧ください。

24番 介護給付費準備基金積立金 2億9,474万6千円でございます。令和4年度の決算剰余金の一部を、介護給付費準備基金に積み立てます。

25番 福井競輪事業2億6,000万円でございます。令和4年度の決算剰余金の一部について、競輪事業基金への積立ておよび一般会計への繰出しを行います。

14ページをお開きください。第五に「継続費の設定」です。

26番 南消防署建設事業14億6,500万円でございます。消防防災体制の充実強化を図るため、南消防署の新庁舎建設について、継続費を設定するものです。

15ページをご覧ください。第六に「債務負担行為の設定」です。

27番 ふくい桜まつり開催事業4,689万2千円、および

28番 愛宕坂にぎわい事業350万3千円、

につきましては、ふくい桜まつりを令和6年3月から実施することに伴い、債務負担行為を設定するものです。

29番 道路舗装事業1億円でございます。年度当初から公共工事に着工し、年間を通した切れ目のない工事発注を行うことで、施工時期の平準化を図るとともに、市内建設業者の経営安定化に寄与するため、債務負担行為を設定するものです。

16ページをお開きください。次に、「指定管理者の指定に伴うもの」です。

30番 にぎわい交流施設管理運営事業 3億4,029万円、

31番 フェニックス・プラザ管理運営事業 5億9,226万5千円、

32番 観光物産館管理運営事業 8,792万円、および

33番 児童館管理運営事業 8億7,475万円、

につきましては、施設の運営及び維持管理に要する費用について債務負担行為を設定するものです。

以上、令和5年度12月補正予算案の概要につきまして説明させていただきました。よろしくお願い申し上げます。

【福井市長】

続いて、その他として福井市特別栄誉賞の授与についてです。本市出身で、メジャーリーグのボストン・レッドソックス所属の吉田正尚(よしだ まさたか)選手に、特別栄誉賞を授与するものです。

吉田選手は、今年3月のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本の優勝に大きく貢献し、社会に大きな感動を与えたことをご存知のとおりです。さらに、4月からのメジャーリーグでは、レッドソックスの主軸として数々の活躍をされ、先日、シーズンの戦いを終えたところです。この間、日々の戦績は、新聞やテレビに取り上げられ、常に市民の関心を集め、子どもや我々大人たちに、夢と希望を与えるような素晴らしい活躍を見せていただきました。吉田選手には、東京オリンピック2020金メダルの活躍をもって、令和3年9月に市民栄誉賞を授与しておりますが、WBC優勝の立役者であること、そしてメジャーリーグでの活躍は、再び市民栄誉賞に値する顕著なものであります。そのため、福井市特別栄誉賞を新設し、表彰することとしました。表彰式の日程等は現在調整中です。決まり次第、お知らせします。

私からは以上です。

< 質疑応答 >

【広報課長】

それではただ今説明がありました案件につきまして質疑応答を行います。

【福井新聞】

新幹線開業に向けた事業の中で、ふくい桜まつり新幹線開業記念事業についてお聞きします。今回、桜まつりに合わせて新幹線開業の祝砲打ち上げの花火ということで予算計上されましたが、その概要と狙いについて教えてください。

【市長】

ちょうど花見のシーズンと被ってくるので、花見客をおもてなしする花火打ち上げを実施したいと思っています。

【財政部長】

日程と場所ですが、3月22日、23日、30日の3日間、足羽川河川敷で打ち上げの予定で、1回につき100発程度、約10分間打ち上げを行う予定です。

【福井新聞】

新幹線開業で福井に来る方々に、桜まつりでどのようなことを楽しんでもらいたいかお聞かせください。

【福井市長】

ふくい桜まつりは、中央公園といった平地のところで行うものも多いのですが、足羽山の茶屋のあたりで、福井ならではの食べ物を食べながら楽しんでもらいたいです。新幹線に乗って来た人が、福井とはこういうところなんだとわかってもらうための一つのあり方だと思っていますので、ぜひ足羽河原や足羽山へ、足を運んでもらいたいです。

【福井新聞】

今回、新幹線開業後の施策として、主に桜まつりの予算が計上されています。一方で、開業後、半年後、1年後を見据えた今後の誘客施策やPRが、今回の予算では見えてこなかったのですが、市長がこれまでも、新幹線開業を迎えてゴールではなく、その効果をいかに最大化できるかということもおっしゃっていたと思うので、各部署が今どのような計画をしているのか、どのような指示をしているのか教えてください。

【市長】

新幹線開業で終わりではなく、スタートだということなので、新年度の当初予算等の中では、新しいものも含めた事業展開を考えていく必要があると思っています。ただ、最初の3月あたりの動きや状況をよく見みた上で何をするかを考えなければならない部分もあると思いますので、来年のいろいろな補正予算も含めて整理をしていきたいと思っています。

【朝日新聞】

保育の職場環境改善事業ですが、県の財源なので、県がこのような事業をやってくださいという類のものなのか、県の財源の中で、市としてこのような政策を独自にやるのか、施策の概要も含めて教えてください。

【財政部長】

県の保育の職場環境総合対策事業という補助金があり、それを活用して行っていくもので、各私立保育園に精神科医師とか臨床心理士を招き、個々の保育の相談であったり、環境改善であったりという指導をしていただくものです。

【朝日新聞】

県の予算を使って精神科医や臨床心理士を招いた形の事業をやってくださいと言われて、市が予算計上したのか、それとも、県の予算が大枠としてあり、市として工夫してこのような取り組みをするのか、どういう位置付けの予算なのかお聞かせください。

【子育て支援課】

元々これは県の 6 月補正事業で提案をいただいた事業で、その事業の中身について我々としても精査させていただく中で、この県の補助事業を活用し、専門の先生方をお呼びして、主に保育士の方々のメンタルヘルスケアの改善のための事業支援という形で、今回 12 月補正に上げた次第です。

【朝日新聞】

他の自治体でも同じような形で、臨床心理士とかを呼ぶような形のメニューになっているのでしょうか。

【子育て支援課】

県の補助事業ですので、他の市町も同じようなメニューになっています。

【朝日新聞】

シェアサイクル活用促進事業の拡充について、ふくチャリの利用者増加に対応するためとのことですが、どのくらいの増加があったのか教えてください。

【財政部長】

令和 5 年度の利用は、9 月末時点で 5400 回を超えており、この回数はさらに増えてきている状況です。それを受け、今後新幹線が来た後のまちなかの周遊も考え、今回ふくチャリの台数を 60 台から 100 台に、40 台増加するというものです。

【福井新聞】

吉田正尚選手の特別栄誉賞に関して、今回新設される賞ということで、東村市長は吉田選手の活躍を見て、日々どのように感じていますでしょうか。

【市長】

福井出身の選手が、世界の舞台で活躍してくれるというのは、福井に対する誇りを持てる原点になっていると思いますので、ずっと応援をしてきました。

【福井新聞】

式典については今後検討されるという話ですが、東村市長から授与されるのでしょうか。

【市長】

そこはわかりません。

【福井新聞】

今後、特別栄誉賞の受賞の基準を何か設定されるのでしょうか。

【市長】

基本的には、今までの市民栄誉賞と同じような形ですが、2回目3回目と活躍されている方にも同じような賞をお渡しできるように、今回の賞を作りました。

【福井新聞】

ということは、市民栄誉賞の受賞者が、その後活躍したときに対象になるということでしょうか。

【市長】

必ずしも限定しませんが、そのような流れになると思います。

【福井新聞】

改めてその授賞式の模様や、受賞記念に吉田選手のPRについて、市内でどう展開してくか検討されていますか。

【市長】

まだ吉田選手本人の日程がわからないのですが、今調整をしている表彰式との関係も含めて、何か話の中で出てくればまた考えていきたいと思います。

【福井テレビ】

今の吉田選手の件について、受賞の理由は、WBCの優勝に貢献したという点と、メジャーリーグの舞台で活躍という点は、両方並列なのでしょうか、それともWBCの方が決め手として大きかったのでしょうか。

【市長】

気持ちの上ではWBCが大きいですが、WBCだけでも少し不十分かなと思っており、アメリカのメジャーリーグでの活躍も、非常に大きいポイントだったと思っています。3月にWBCでの活躍、その後、メジャーリーグで活躍され、継続して活躍されたという点が、大きなポイントだと思っています。

【福井テレビ】

福井県民みんなが吉田選手を応援されたと思うが、来期以降さらに上を期待する気もするのですが、市長としていかがですか。

【市長】

あれだけ活躍していただくと、これから先どこまでいくのだろうと思います。素晴らしい登り竜になってくれたらいいなと思います。

【読売新聞】

吉田選手について確認ですが、市民栄誉賞を1回受賞しているのですが、今回は新しい賞となるのか、もう1回市民栄誉賞を贈ることはできないため、市民栄誉賞と同じ位置付けで、特別という名前をつけたとの理解でいいでしょうか。

【市長】

市民栄誉賞をもう一度出すわけにはいかないのですが、特別栄誉賞ということで、2度目もありうるということにしています。

【読売新聞】

ということは市民栄誉賞と基本は同じ位置付けということですかね。

【市長】

はい。

【広報課長】

他にございませんか。ご質問がないようですので、これで市長記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。